

家庭基礎の授業で、近隣の「大塚わくわく園」へ交流訪問しました。園の子ども達に楽しんでもらえるように、「健康手遊び」と「ゲー、チョキ、パー」の手遊びを訪問までの授業で何回か練習しました。生徒たちのレポートの一部抜粋です。

・(緊張するなあ) 最初は子ども達と仲良くなれるか不安でした、子ども達もどんどん慣れてくれてとても仲良くなれました。保育園の先生は子ども達に聞こえやすくハキハキわかる言葉で話したり、ずっと子どもから目を離さなかったりとてもすごいなと思いました。今回の交流訪問を通して小さい子は本当に可愛くてとても癒されました。

・最初は全然目も合わせてくれず、しゃべっても反応してくれないのがほとんどでした。けれど根気強く遊ぼうと言ったり、園児の目線の高さに合わせたり、とにかく園児のペースに合わせ、しゃべりかけたりした。おかげで後半は楽しく遊べた。最後、帰るときは表にまで出てきてくれて、ハイタッチをしてきたのがとても嬉しかった。

・手遊びの後、園児と遊ぶことになりました。最初は困りましたが、どんどん勇気がでてきて、最終的に積み木遊びを仲良くすることができました。園児の対応も一対一でも大変だったので、二～四人のみの先生と十人近くいる園児の対応は難しいのかなと思いました。

・外に出た後も子ども達が手を振っていたので振り返りながら学校に戻りました。子ども達は元気でもとてもかわいかったです。良い経験ができました。

・今回で保育士の方の大変さがわかった。保育士同士のコミュニケーションを大切にしていってすごいなと思った。

・「おねえちゃん、遊ぼう」と言ってくれて、折り紙をして遊びました。手がとても小さいのに器用にピアノを作っていてかわいかったです。色も工夫をして塗っていてすごいなと思いました。この時に保育園の先生が「すごいね」とほめ、子どもたちにやさしく接していらっしゃいました。

・やさしく接することで、子どもを安心させることができました。

・子ども達の提案でバナナ鬼をした。園庭で山に登ったり土管の中に入ったり、滑り台をすべったり汗だくになるまで追いかけ、たくさん動いた。子ども達は想像以上に体と頭脳を動かしていることがわかった。

